

笑顔がもらえて、病みつきに

全く違う年代や境遇の人と接したり、一緒に何かをやってみたくて、大学に入ってすぐ、学内のボランティア相談室に飛び込みました。

現在は、このボランティア展と、年に数回行われる、知的障がいのある方のための生涯学習の場「さつぽろオーブンカレッジ」のお手伝いをしています。ある時、しばらくぶりに再会した障がい者から「待ってたよ」と、とびきりの笑顔で話しかけられ、その時のうれしさが忘れられなくて。人のためになんて考えてしまうと、重荷でつらくなってしまふけれど、心から楽しんでるから、続けられるのだと思います。

ボランティア展は年に一度、仲間の同窓会のような雰囲気です、そこで人と人とのつながりの大切さも学びました。社会人になっても、仲間と共に、ボランティアを続けたいです。



北海道大学 4年
つちはし さきこ
土橋 早季子 さん

中に一步、踏み込んでみて

退職した後、地域の中で福祉のボランティアをやりたいと、かねてから思っていました。その第一歩として「はじめの一步講座」を受講し、その縁でボランティア展を紹介されたのです。

ここで実際に障がいのある方に接したり、さまざまなお手伝いを体験してみると、ボランティアとはどういうものなのかが分かりました。こんなことをやってみたい、こんな活動が向いているかも、などと具体的に思い描けるようになりましたよ。こういう機会が、もつとあるといいですね。

北区には、ボランティアが活躍できる場はたくさんありますが、担い手が少ないそうです。人は誰でも、誰かの手を借りなければ生きていけません。ボランティアに参加し、共に歩んでいくことが当たり前の、温かい世の中になってほしいと願っています。



北区拓北在住
にいだ ひでかつ
仁井田 英勝 さん

ボランティアを始めたい人のための情報拠点 北区社会福祉協議会に相談してみよう

ボランティアに参加してみたい、どんな活動があるか知りたいなど、どんなことでも気軽に相談できます。体験可能な施設なども紹介しています。

〔ボランティアの一例〕

施設での活動	話し相手、お茶出し、趣味活動の手伝い、外出介助
在宅での活動	話し相手、ごみ出し、除雪、外出介助
芸能ボランティア	演奏、踊り、マジック

■詳細 北区社会福祉協議会（北 24 西 6・北区役所 2 階①窓口） ☎ 757-2482



お二人は、「自分が楽しめる」「心豊かになれる」ことが、ボランティアの魅力だと語ります。

住民同士のきずなを深め、生活に潤いをもたらすボランティア。あなたも始めてみませんか。